



お礼とご報告

神奈川県 産学連携事業「本の架け橋プロジェクト」様


はじめまして。海外青年協力隊ボランティアの山口智加と申します。

私は 2018 年 1 月よりモンゴルの首都ウランバートルにある第 18 番学校で、日本語教師として日本語や日本文化を子どもたちに教える活動を行っています。

この度は、モンゴルの日本語を学ぶ子どもたちのために本の寄付をいただきまして、ありがとうございました。私の活動先の学校では、7 歳から 16 歳の生徒たちが日本語を勉強しております。しかし、モンゴルでは日本語で書かれた本はほとんど販売されておらず、生徒たちにとっては、せっかく学んだ日本語が活用できるという実感を得にくい現状でした。今回ご寄付いただいたたくさんの書籍は、子どもたちが「日本語で書かれた本を自分で読める」体験をすることで、さらに学習意欲を高めるきっかけになったと思います。本当に感謝いたします。

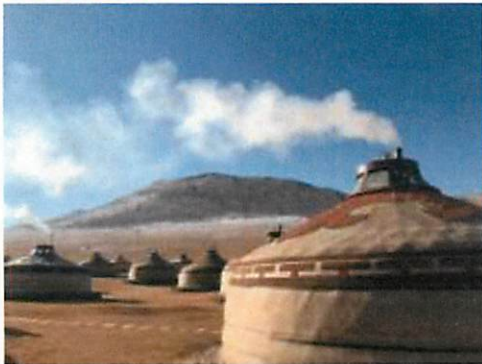
お礼とともに、モンゴルと、モンゴルで日本語を学ぶ子どもたちのことを紹介させていただきたいと思います。

海外青年協力隊 山口智加



モンゴルといえば、ゲルと草原、遊牧民、チンギス・ハーン、馬頭琴、相撲…このあたりを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。当然、どれも正解なのですが、現代のモンゴルはそれだけではないのです！首都はデパートや高層ビルが建ち、街中には遊牧民ではなくおしゃれな若者がカフェでおしゃべりしています。そんな、様々な魅力あふれるモンゴルを、少しですがご紹介させていただきます！

モンゴルは こんなところ！



街中ではマンションに住んでいる人が多いですが、今もゲルで生活している人々はたくさんいます。もちろん、遊牧生活をしている人もいます。モンゴルでは、気軽に乗馬体験やゲル泊が楽しめます♪



五大家畜である馬・らくだ・山羊・羊・牛などの動物たちもたくさん見ることができます。

モンゴルでは「白い食べ物（乳製品や小麦粉を使った料理など）」と「赤い食べ物（お肉）」が食卓によく並びます。代表的なものは、ボーズ（モンゴルの餃子のようなもの）やスーテイツイ（ミルクティ）です。



一部の地域では鷹を使って狩りをします！



モンゴル基本情報

- 【面積】156万4,100平方キロメートル（日本の約4倍）
- 【人口】約317万人 【首都】ウランバートル 【宗教】チベット仏教等
- 【民族】モンゴル人（全体の95%）及びカザフ人等
- 【言語】モンゴル語（国家公用語）、カザフ語
- 【時差】日本よりマイナス1時間（一部地域はマイナス2時間）



モンゴルにも書道がある！

- 現在では日常で使われないのですが、昔のモンゴルの縦文字で書かれる「モンゴル・ビチグ」は、日本と同じく墨と筆で書かれます。



実はとっても都会！

- 草原だけじゃない！都市部は高層ビルやデパートが立ち並び、日本と同じようなブランドのお店だってあります。



さむすぎる❄️最低気温 -40度

タピオカだってある！



- さむいときはマイナス40°！服やまつげも凍ります！しかし夏は快適！プラス30°ほどまで上がりますが、湿度が低くて過ごしやすい！

伝統舞踊、民族楽器、民族衣装 美しいものばかり！



制服もおしゃれ♡



- 日本と同じように、ファッションや髪型にこだわってます！みんなおしゃれ！

- モンゴルは、食べるもの、見るもの、体験することがたくさんあります！ぜひ、モンゴルまで遊びにきてください♪



活動先はこんな学校！

第18番学校は、モンゴルの首都ウランバートルにある公立の小中高一貫学校です。

外国語の特化教育を行っており、日本語の他に英語、ロシア語、ドイツ語、中国語、韓国語が選択必修科目となっております。

教員数は約80人、生徒数は約2400人。

日本語を学んでいるのは、2年生から12年生の約300人の生徒たち！



日本語の授業ってどんなの？



日本語の授業は、小学校2年生から始まります。最初は日本語のあいさつや歌などから慣れていき、3年生からひらがなを勉強しはじめ、カタカナ、漢字と段階的に学習します。読み書きと同時に、会話や日本事情なども学びます。

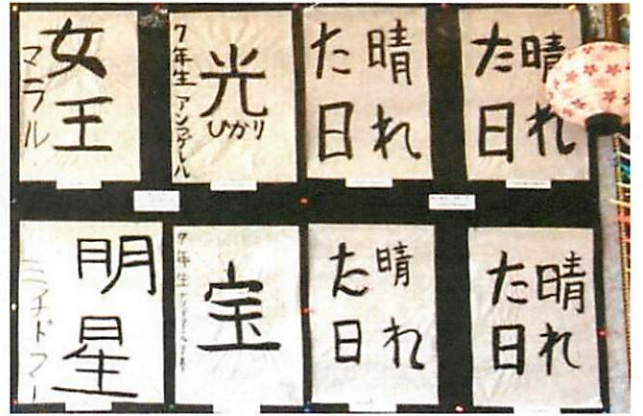


日本語を学ぶ理由はそれぞれですが、「アニメや歌手が好き」、「日本の大学で学びたい」、「日本の会社で働きたい」、「日本に住んでみたい」、など、日本の教育や技術力、整備され清潔な街並みやホスピタリティなどに憧れや関心をもってきている人が多いです！

クラブ活動

書道

モンゴルにも「モンゴル・ビチグ」という書道があるためか、子どもたちはお手本を見ただけで筆の運びや文字のバランスなどの感覚をすぐ掴んでいきます。私は日本でいろいろな外国人の方々に書道を教えていたことがあるのですが、漢字圏ではない国の中でも、モンゴルの子どもたちの技術は非常にレベルが高いと思います。



ありがとう

学年問わず大人気の折り紙。
千羽鶴を作ろうと企画したところ、みんな作るのに夢中になって、なんと2000羽もできてしまいました。

茶道

茶道の作法や道具の名称を覚えるのは簡単ではありません。しかしながら、生徒たちの努力は本当にすばらしく、イベントなどいろいろな会場でお点前を披露しています。その際には、自分たちで役割分担を決め、モンゴル語と日本語で解説をしたり、わかりやすい飾りつけを工夫したりしています。また、ロシアや中国などで行われたイベントにも出場し、メダルを獲得するなど成果を残しています。



校内イベント

学校は語学や異文化理解に関するイベントも盛りだくさんです！日本語の生徒たちは、おにぎりやりんごあめを作ったり、けん玉や折り紙などの遊びを紹介したり、日本の歌や踊りを披露したりします。



日本語を学んだ成果は？

18番学校は、モンゴル国内で開催される日本語の共通試験で、各レベルで上位3位以内に入る生徒たちがたくさんいます。また、日本語を学習する意欲のある優秀なアジアの高校生たちを約10ヶ月間、日本に無償で招待する【架け橋プロジェクト】に、本校の生徒が毎年が選ばれています。その他、日本の大学へ進学したり、日本語学科のある大学から日本へ留学したり、日本に関わる企業に就職する生徒もいます。



さいごに…



モンゴルはまだ開発途上の国です。日本のように、学びたいことが学べる大学があったり、興味のある仕事ができる会社を選べるわけではありません。子どもたちは日本語によって、日本の大学や企業への道が拓け、将来の可能性を広げることができます。そして、培った技術や知識などを日本とモンゴル、そして世界に還元してくれるはずです。子どもたちと、モンゴルと日本の未来のためにも、日本語教育はとても重要となってきています。今回、【世界の笑顔のために】プロジェクトにご協力くださった皆様は、物資だけでなく、モンゴルの人々に「日本の人たちが応援してくれている」、「モンゴルに関心をもってくれている」という心の繋がりを、強く感じさせてくれました。本当に、ありがとうございました。